

“負”動産から“富”動産へ!!ステップアッププロジェクト（長野県司法書士会）

課題と目的	近い将来、3軒に1軒が空き家という予想を見据え、まだ空き家問題が深刻でない振興住宅地をモデル地区に選定。空き家予備軍を“負”動産ではなく“富”動産にするための思考を育てる。住民自治協議会とともに、住民の空き家問題に対する意識を高め、相続登記の促進等事前対策を促すことで、空き家化予防(中古住宅等)の流通につなげ、ふるさとの維持・活性化を目指す。						
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・当会と県並びに市及び住民自治協議会との連携強化。・空き家問題の啓発パンフレットの作成並びに地域住民・地区役員会等における周知活動の実施。・空き家対策連続講座「住民学校」の開催及び相談会の同時開催。・「空き家問題から考える未来の地域づくり」をテーマにしたシンポジウムの開催。						
成果	<table><tr><td>①県・市・住民自治協議会と司法書士会の相互理解と連携体制の構築</td><td>③啓発パンフレット1~10までの作成及び配付</td></tr><tr><td>②空き家対策連続講座「住民学校」の開催</td><td>⑤啓発シンポジウムの開催</td></tr><tr><td>④「住民学校」と並行した相談会の実施</td><td></td></tr></table>	①県・市・住民自治協議会と司法書士会の相互理解と連携体制の構築	③啓発パンフレット1~10までの作成及び配付	②空き家対策連続講座「住民学校」の開催	⑤啓発シンポジウムの開催	④「住民学校」と並行した相談会の実施	
①県・市・住民自治協議会と司法書士会の相互理解と連携体制の構築	③啓発パンフレット1~10までの作成及び配付						
②空き家対策連続講座「住民学校」の開催	⑤啓発シンポジウムの開催						
④「住民学校」と並行した相談会の実施							

・連続講座「住民学校」の開催

第1回 令和1年11月17日(11人) 第4回 令和1年12月22日(18人)

第2回 令和1年11月24日(13人) 第5回 令和2年 1月26日(29人)

第3回 令和1年12月 8日(12人) 第6回 令和2年 2月 2日(31人)

()内は参加員数

・相談会の実施

計4件の相談

- ・身寄りのない叔母亡きあととの問題
- ・亡母の兄妹が住んでいる亡母名義の建物 など

・シンポジウム

空き家の問題から考える未来の地域づくり

令和2年2月16日(日)長野市川中島町公民館にて開催

- ・基調講演テーマ「空き家の活用で街を元気に」中川寛子先生
- ・パネルディスカッション テーマ「解決！空き家問題」(95人)

住民学校



広報チラシ・パンフレット制作

